

ハーバード大学ライシャワー日本研究所と部局間学術協定の締結(2014/6/13)

テーマ：東日本大震災，災害科学，デジタルアーカイブ

会場：ハーバード大学ライシャワー日本研究所（アメリカ合衆国 マサチューセッツ州）

6月13日（金）ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所（マサチューセッツ州）において，東北大学災害科学国際研究所（IRIDeS）とハーバード大学ライシャワー日本研究所（RIJS）は，災害科学およびデジタルアーカイブ分野における学術協力協定を結びました。

ハーバード大学とは，2011年秋頃からハーバード大学と東日本大震災の震災アーカイブの研究を共同で実施し，2012年の震災アーカイブ国際シンポジウムの共同開催や2012年の夏に共同で震災アーカイブに関するサマーカンファレンスの開催などを行ってきました。また，研究者交流も頻繁に行い，これまでに日本から3回の教員派遣，ハーバード大学から6回の教員，研究員の招聘が行われています。

この度の学術協定の締結では，東日本大震災のデジタルアーカイブの更なる共同研究の推進，及び教員の研究者交流の推進を双方で協力していきながら進めて行くことが決まりました。協定書締結には，ハーバード大学からライシャワー日本研究所 Director の THEODORE C. BESTOR 教授及び東日本大震災当時の前 Director であった ANDREW GORDON 教授，Executive Director の THEODORE J. GILMAN 氏，災害科学国際研究所からは今村文彦教授（所長，災害リスク研究部門）と柴山明寛准教授（情報管理・社会連携部門）が参加しました。



ハーバード大学ライシャワー研究所（左：研究所建物，右：研究所エントランス）



協定書締結風景（左は THEODORE C. BESTOR 教授，右は今村文彦所長）

文責：今村文彦（災害リスク研究部門）

柴山明寛（情報管理・社会連携部門）